

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 169

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ フロッピーディスクの利用について.....	1
◇ フロッピーディスク利用説明会の開催について.....	4
◇ 磁気テープ利用のためのユーティリティの開放 について.....	5

◇ フロッピーディスクの利用について

フロッピーディスクが7月より使えるようになりましたのでお知らせします。フロッピーディスクとは、簡易型のデータ蓄積媒体で、1ボリュームにカードにして1898枚のデータを記録できます。フロッピーディスクの価格はカード2000枚の1.5倍程度ですが、磁気テープと同様、その媒体上にデータセットを確保したり、消去したり、その内容を一部修正したりできるので、カードに比べて割安です。

以下、センターで使用できるフロッピーディスクの概要およびその利用方法(キーツーディスク装置を使うオフライン利用とフロッピーディスク装置を使うオンライン利用の2つがある)について説明していきます。

1) フロッピーディスクについて

使用できるフロッピーディスクは、B87L-0520-0011A,あるいはB870-0520-T001A仕様のもの、またはそれに準拠したものに限り、ボリュームは、トラックとセクタから構成され1ボリューム当り最大19個のデータセットを作成することができ、最大5ボリュームを1つのデータセットとして割り当てる(マルチボリュームという)ことができます。

1ボリュームの構成は、次の通りです。

1ボリューム=77トラック(うちデータ格納領域として73トラック)

1トラック=26セクタ

1セクタ=1レコード(最大128バイト)

フロッピーディスクを購入する場合は、下記までお問合せください。

富士通株式会社福岡営業所電子課(電話(092)411-6311)

2) オフライン利用(キーツーディスク装置による)について

キーツーディスク装置(2階オープンパンチ室に設置)を使用する場合は、オープン機器使用申込書で装置の使用時間を予約する必要があります。そのうち、使用のための前準備として、キーツーディスク装置の所に準備されたシステムフロッピーディスク(キーツーディスク装置を利用するためのプログラムを入れたもの)を装置にセットし、目的の作業に応じたプログラムをロードしなければなりません。

2.1) ボリュームのイニシャライズ

ボリュームのイニシャライズを行うには、まずシステムフロッピーディスクから、リイニシャライズプログラム(RINT)をロードします。次にシステムフロッピーディスクを取り外し、イニシャライズしたいフロッピーディスクを装置にセットした後、イニシャライズ処理を行います。

2.2) データ入力、修正等

データの入力や修正などを行うには、まず、システムフロッピーディスクから基本プログラム(ENTI)をロードします。つぎに基本プログラムに用意された各種の機能を利用して目的データの作成を行います。

基本プログラムには、次の機能が備わっています。

索引、入力、更新、打鍵検査、索引修正、探索、フィールド修正、フォーマットプログラムロード詳しくは、以下のマニュアルを参照してください。

・FACOM 6850 フロッピーデータエントリシステム使用手引書(91SP-0310-2)

・FACOM 6850 フロッピーデータエントリシステム操作手引書(91SP-0320-2)

3) オンライン利用(フロッピーディスク装置による)について

フロッピーディスク装置(3階磁気テープステーションに設置)を使用する場合は、オープン機器使用申込書で装置の使用時間を予約する必要があります。そのうち、磁気テープステーションのカードリーダーから利用者自身でジョブを入力します。利用可能なジョブクラスはNのみで、磁気テープと同じような処理が行えます。ジョブの実行が開始すると、フロッピーディスクの取付けの指示メッセージが、実行が終了すると取外しの指示メッセージが、キャラクタディスプレイ装置に表示されます。利用者は、メッセージに従って操作を行うことが必要です。

以下、フロッピーディスクをあつかうためのカタログドプロシージャFLOPPYについて説明します。

・形式

プロシジャ名	記号パラメータ	プロシジャステップ名
FLOPPY	[,SYSOUT={ $\frac{A}{K}$ }]	FLOPPY

・機能

- (1) フロッピーディスクと他の媒体間のデータ複写を行う。
- (2) フロッピーディスクのボリューム情報（ボリューム通番，データセット情報など）をリストする。

・記号パラメータ

SYSOUT 出力クラスを指定する。A（LP），K（カナ付LP）

・関連するDD名

SYSUT1 …入力データセット用

STSUT2 …出力データセット用

・その他

プログラムオプションとして次のものがある。

VTOC…フロッピーディスクのボリューム情報をリストする。

LIST…フロッピーディスクの指定データセットの内容をリストする。

・使用例（下線部は，利用者が適当に置きかえるべき項目を示す。なおUNIT=830がフロッピーディスクを示す）

- (1) フロッピーディスクのボリューム情報をリストする。

```
// EXEC FLOPPY, PARM=VTOC
//SYSUT1 DD VOL=SER=FP0001, UNIT=830, DISP=OLD
//
```

- (2) フロッピーディスクの指定データセットの内容をリストする。

```
// EXEC FLOPPY, PARM=LIST
//SYSUT1 DD DSN=DATA1, VOL=SER=FP0001, UNIT=830, DISP=OLD
//SYSUT2 DD SYSOUT=A
//
```

- (3) フロッピーディスクから直接アクセス装置へ複写する。

```
// EXEC FLOPPY
//SYSUT1 DD DSN=DATA1, VOL=SER=FP0001, UNIT=830, DISP=OLD
```

```
//SYSUT2 DD DSN=F0099. PS. FORT, DISP=(NEW, CATLG),
//
// UNIT=PUB, SPACE=(TRK, (10, 10)),
//
// DCB=(RECFM=FB, LRECL=80, BLKSIZE=1200)
//
```

(4) 直接アクセス装置からフロッピーディスクへ複写する。

```
// EXEC FLOPPY
//SYSUT1 DD DSN=F0014. PS. FORT, DISP=SHR
//SYSUT2 DD DSN=DATA1, VOL=SER=FP0001, UNIT=830,
//
// DISP=(NEW, KEEP), SPACE=(TRK, (10)),
//
// DCB=(RECFM=F, LRECL=80, BLKSIZE=80)
//
```

◇ フロッピーディスク利用説明会の開催について

フロッピーディスク利用説明会を下記の要領で開催します。

なお、会場等の都合により定員になりしだい申込みを締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

記

- ・期 日 8月4日(金)
- ・対 象 センター利用有資格者
- ・募集人員 40名
- ・会 場 大型計算機センター会議室(5階)
- ・テキスト センター側で用意します。
- ・時 間 割

10:00 12:00 13:00 16:00

フロッピーディスクの 利用方法	昼 休 み	実習(キーボードディスク装 置の利用方法)
--------------------	-------------	--------------------------

- ・申込み期間 7月26日(水)～8月2日(水)
- ・申込み先 九州大学大型計算機センター
共同利用掛(電(内)2256,2264)

2. MTINIT

1) カタログドプロシジャ

プロシジャ名	パラメータ	プロシジャ ステップ名
MTINIT	LABEL={ ^{SL} NL} [,VOL=ボリューム通番] [,OWNER=所有者名]	MTINIT

機能：標準ラベル(SL)、ノンラベル(NL)の磁気テープボリュームの初期化を行う。

* 省略可、省略した場合には標準値が設定される。指定時には、ボリューム通番は6文字以内の、所有者名は10文字以内の英数字でなければならない。

2) 使用例

i) 標準ラベルで、ボリューム通番をAAA100、所有者名をKYUSYUとして初期化する。

```
//N009100 JOB F0091, パスワード
```

```
// EXEC MTINIT, LABEL=SL, VOL=AAA100, OWNER=KYUSYU
```

```
//
```

ii) ノンラベルで初期化する。

```
//N009100 JOB F0091, パスワード
```

```
// EXEC MTINIT, LABEL=NL
```

```
//
```

3) 注意事項

利用は、磁気テープステーションからのオープン利用に限ります。